

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
麻酔科診療プラクティス 19:82-83,2006	吸入麻酔薬と環境汚染問題	上村 裕一	麻酔科
スーパー・ローテート各科研修シリーズ 158-160,2006	第4章 外科研修医のために 1)術前検査・術前処置	山口 俊一郎, 上村 裕一	麻酔科
スーパー・ローテート各科研修シリーズ 161-163,2006	第4章 外科系研修医のために 2)術前内服薬 —続ける薬・止める薬	門田 善民, 上村 裕一	麻酔科
スーパー・ローテート各科研修シリーズ 165-168,2006	第4章 外科系研修医のために 3)術後鎮痛法	恒吉 勇男 他	麻酔科
循環制御 27(1):1-4 2006	僧帽弁の解剖と TEE の基本断面	高山 千史	麻酔科
循環制御 27(1):10-15,2006	僧帽弁の定量評価	松永 明	麻酔科
臨床麻酔 30(1):115,2006	書評 外 須美夫 編集 マグネシウムの基礎と臨床—日常診療および周術期における役割	上村 裕一	麻酔科
ペインクリニック 27(1):125,2006	文献抄訳 Trigeminal small-fiber sensory neuropathy causes burning mouth syndrome	益山 隆志	麻酔科
Cardiovascular Anesthesia 10 (1):73-76,2006	◇文献レビュー2005◇ 3.小児に関する話題	尾前 毅	麻酔科
麻酔科学レビュー 2006:230-234,2006	麻酔科のマンパワーと医療経済	大瀬 克広	麻酔科
麻酔 55:1140-1148,2006	Org 9426(臭化クロニウム)の筋弛緩作用ー臭化ベクロニウムとの比較ー	上村 裕一	麻酔科
麻酔器診療プラクティス 19:32-36,2006	麻酔器の安全機構	當房 和己 他	麻酔科
臨床と研究 83:1322-1326,2006	麻酔薬の適切な使い方	恒吉 勇男 他	麻酔科
日本小児がん学会	出生時より下肢麻痺を伴った先天性神經芽腫	林田 良啓	小児外科
日本周産期・新生児医学会	低出生体重の外科治療	高松 英夫	小児外科
FASEB J 21(9): 2108-2012, 2007	Gastrointestinal hormones (anorexigenic peptideYY and orexigenic ghrelin) influence neural thbe development.	Inui A et al	心身医療科
Endocrinology 148(6): 3004-3012, 2007	Ghrelin Treatment causes increased food intake and retention of lean body mass in a rat model of cancer cachexia.	Inui A et al	心身医療科
Am J Psychiatry 164(3): 528-529, 2007	Olanzapin-induced hyperglycemia in anorexia nervosa.	Yasuhara D et al	心身医療科
Regulatory Peptides, Jan11, 2007	Increased circulating cholecystokinin contributes to anorexia and anxiety behavior in mice overexpressing pancreatic polypeptide.	Inui A et al	心身医療科
Peptides Jan3, 2007	A role for pancreatic polypeptide in feeding and body weight regulation.	Kojima S et al	心身医療科
J Psychiatry Res 41(10): 814-820, 2007	Incomplete restoration of the secretion of ghrelin and PYY compared to insulin after food ingestion following weight gain in anorexia	Nakahara T et al	心身医療科
J Diabetes Complications 20: 380-383, 2006	A motilin agonist, erythromycin, decreases circulating growth hormones levels in normal subjects but not in diabetic subjects.	Inui A et al	心身医療科
J Intern Med 260(5): 484-487, 2006	HER-2 overexpression and targeted treatment by trastuzumab in a very old patient with gastric cancer.	Inui A et al	心身医療科
Science 313(5791): 1236-1238, 2006	Role of leucine in regulating food intake.	Inui A et al	心身医療科
J Gastroenterol Hepatol 21(9): 1501-	Peptide YY3-36 and pancreatic polypeptide suppress food intake.	Inui A et al	心身医療科

2 論文発表等の実

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int Congress Series 1287: 285-287, 2006	Relationship between neuropsychological performance and regional cerebral blood flow in anorexia nervosa.	Naruo T et al	心身医療科
Int Congress Series 1287: 361-367, 2006	Acylated ghrelin and des-acyl ghrelin exert different effects on the gastrointestinal motility in conscious rats.	Inui A et al	心身医療科
Peptides 27(9): 2332-2342, 2006	Leptin transgene expression in the hypothalamus enforces euglycemia in diabetic, insulin-deficient nonobese Akita mice and leptin-deficient obese ob/ob mice.	Inui A et al	心身医療科
Horm Behav 50(2): 261-265, 2006	Ghrelin concentrations and cardiac vagal tone are decreased after pharmacologic and cognitive-behavioral treatment in patients with bulimia nervosa.	Nakahara T et al	心身医療科
Philos Trans R Soc Lond B Biol Sci 361(1471): 1281-1289,	Anorexia in cancer: role of feeding-regulatory peptides.	Inui A et al	心身医療科
Cell Metab 3(4): 267-275, 2006	Role of hepatic STAT3 in brain-insulin action on hepatic glucose production.	Inui A et al	心身医療科
Psychoneuroendocrinology 31(4): 452-458, 2006	Relationship between pretreatment laboratory-measured episodes of reactive hypoglycemia and short-term weight restoration in anorexia nervosa: A preliminary study.	Yasuhara D et al	心身医療科
Neuroscience Lett 394(3): 256-258, 2006	Inhibitory effect of 5-hydroxytryptamine on hyperphagia in mice with genetic overexpression of neuropeptide Y.	Inui A et al	心身医療科
自己血輸血19(1) 18-23: 2006.	自己血輸血改訂ガイドライン案での検討課題について 一当院での貯血式自己血輸血の現状と照らし合わせて	古川 良尚 他	輸血部
医学のあゆみ 218(6) 612-616: 2006	自己血輸血の現状と課題	古川 良尚	輸血部
J Neurovirol 12: 171-177: 2006.	Clinical symptoms and the odds of human T-cell lymphotropic virus type 1-associated myelopathy/ tropical spastic paraparesis (HAM/TSP) in healthy virus carriers: application of best-fit logistic regression equation based on host genotype, age, and	古川 良尚 他	輸血部
Retrovirology 3: 63: 2006.	Zidovudine plus lamivudine in Human T-Lymphotropic Virus type-I-associated myelopathy: a randomised trial.	古川 良尚 他	輸血部
Journal of Cardiology. 2006 Dec; Vol. 48 No.6: 305-314	Noninvasive and Quantitative Evaluation of the Patency of Internal Mammary Artery Bypass Graft to the Left Anterior Descending Artery by Transthoracic Doppler	水上 尚子	検査部 (臨床技術部)
超音波検査技術(1881-4506)31巻2号 Page165(2006.04)	大動脈弁疾患の評価 あなたは弁だけをみていませんか	水上 尚子	検査部 (臨床技術部)
鹿児島県臨床検査技師会誌「かりんぎ」第	フローサイトメーターの原理と血液細胞の抗原の発現について	政元 いずみ	検査部 (臨床技術部)

計 292

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 高松 英夫	
管理担当者氏名	薬剤部長 山田 勝士	看護部長 亀割 成子
	総務課長 溝口 陸奥夫	医務課長 市山 郁生

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌		総務課	(1) 入院患者カルテは各病棟で管理し、退院患者カルテは、病歴管理室で保存している。 (1診療部門科1カルテ) (2) 外来患者カルテは、各診療部門科において管理し、保存している。 (1診療部門科1カルテ) (3) エックス線フィルムの管理保存 ①CT、MRI、RIのエックス線フィルムについて は、放射線部で管理し保存している。 ②その他のエックス線フィルムは、各診療部門科において管理し保存している。
各科診療日誌、手術記録、看護記録、 検査所見記録、エックス線写真、 紹介状、退院した患者に係る入院 期間中の診療経過の要約		各診療部門科	
処方せん		薬剤部	
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医務課	
	高度の医療技術の開発及び評 価の実績	医務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の 実績	医務課	
	入院患者数、外来患者数及び 調剤の数を明らかにする帳簿	医務課 薬剤部	
確規 保則 の第 9 況条 の 2 3 及 び 第 1 1 條各 号に 掲 げ る 体 制	専任の医療に係る安全 管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行 う者の配置状況	看護部	
	医療に係る安全管理を行 う部門の設置状況	医務課	
	当該病院内に患者から の安全管理に係る相談に 適切に応じる体制の確保 状況	医務課	
	医療に係る安全管理の ための指針の整備状況	医務課	
	医療に係る安全管理の ための委員会の開催状況	医務課	
	医療に係る安全管理の ための職員研修の実施状 況	医務課	
	医療機関内における事 故報告等の医療に係る安 全の確保を目的とした改 善の方策の状況	医務課	

(注) 「診療に関する記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 高松 英夫
閲覧担当者氏名	総務課長 溝口 陸奥夫
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

閲 覧 者 別	前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延 0 件
	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	73.6 %	算 定 期 間	平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日
算出根拠	A: 紹 介 患 者 の 数		12,491 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,830 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		339 人
	D: 初 診 の 患 者 の 数		21,333 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名) · 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2名) · 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 · 無
<p>・所属職員:専任(1)名 兼任(10)名</p> <p>・活動の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療安全を確保するための改善方策 (2) 医療安全に係る教育・研修事業の企画及び運営 (3) インシデントの分析 (4) インシデントに関する診療録や看護記録等への記載状況の確認・指導 (5) 患者や家族への説明等の対応状況の確認・指導 (6) 医療安全管理委員会の円滑な運営 (7) 医療安全に係る連絡調整 (8) その他医療安全対策の推進 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 · 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 · 無
<p>・指針の主な内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 基本指針 (2) 組織体制 <ul style="list-style-type: none"> ① 人的体制 ② 審議組織 ③ 管理組織 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・活動の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療の安全管理体制を確保すること。 (2) 医療に関する安全管理指針に関すること。 (3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。 (4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。 (5) その他医療の安全管理等に関すること。 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 11 回
<p>・研修の主な内容:</p> <p>医療事故等の防止に関する組織的な研修を年7回、 及びシンポジウムを1回実施した。</p>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (有 · 無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療安全管理強化月間の設定(5月、11月) (2) 新規採用者、転入者(研修医含む)及び新リスクマネージャーへの医療安全管理研修会を年度3回実施 (3) 医療安全管理マニュアルを毎年度改訂 (4) 研修医が単独で行ってよい処置・処方の基準の明文化 (5) 身体抑制についての基本方針を決定 	